

舗装施工区分台帳図・舗装定規図作成要領(案)

平成17年 4月
(令和4年3月 改訂)

北海道開発局 建設部道路維持課

改訂履歴

本要領の改訂履歴を下表に示す。

改訂日	該当箇所	改訂内容
H17. 4		平成 17 年 4 月版作成
H20. 10	P 14～17	「7.システム登録用データの作成」を追加
R3. 9	P 18～25	「8.地整・事務所・出張所コード一覧表」「9.データ分類一覧表」を更新
	P 28、29	「10-4.舗装定規図（一般部）」「10-5.舗装定規図（橋梁部）」の図面に中央帯を追加
R4. 3	P11	補修の場合に、柱状図に記載した内容は定規図にも反映し、補修箇所が分かるようにする旨を追記

— 目次 —

【共通編】

1. 適用範囲	1
2. 作成概要	1
3. 作成仕様	2
3-1. データ区分	2
3-2. データの分類	2
3-3. 工事の分類	2
3-4. 沿道区分	2
3-5. 図面様式（紙出力様式）	3
3-6. ファイル名	6
3-7. レイヤ名	7
3-8. 線種及び線の太さ	8
3-9. フォント及び文字サイズ	8
4. データ作成の留意事項	8

【基本編】

5. 舗装施工区分台帳図データの作成	9
5-1. 作成内容	9
5-2. 留意事項	9
6. 舗装定規図データの作成	11
6-1. 作成内容	11
6-2. 留意事項	12
7. システム登録用データの作成	14
7-1. タイトルデータの作成	14
7-2. 成果の取りまとめ	16

【参考資料】

8. 地整・事務所・出張所コード一覧表	18
9. データ分類一覧表	19
10. 作成例（凡例）	26
10-1. 舗装施工区分台帳図 凡例	26
10-2. 舗装定規図 凡例	26
10-3. 舗装施工区分台帳図	27
10-4. 舗装定規図（一般部）	28
10-5. 舗装定規図（橋梁部）	29
10-6. 作成枚数調書	30
10-7. 変更箇所一覧表	30

【共通編】

1. 適用範囲

本要領（案）は、北海道開発局管内で運用している道路管理データベースのサブシステムである「舗装台帳閲覧システム」の登録用データを作成する際に適用する。

2. 作成概要

舗装施工区分台帳図・舗装定規図データは、現況の道路構造を舗装施工区分（一次改築、二次改築、交安、修繕）毎の履歴図及び定規図として整理するものである。

調査職員より提供する工事完成図書などから必要な項目を抽出・整理し、既存台帳図の更新又は作成を行う。

また、舗装台帳閲覧システムに登録する際に必要となるタイトルデータ及び管理区分・路線毎の PDF データを作成する。この登録用データの成果は、道路管理データベースの舗装関連データ（舗装・幅員構成・歩道自歩道・中央帯等）作成の基礎資料と成ることから、変更箇所が判断できる資料を作成する。

3. 作成仕様

3-1 データ区分

登録するデータは、下記の区分毎とする。

- 舗装施工区分台帳図
- 舗装定規図

3-2. データの分類

登録するデータは、下記の項目毎に分類する。

- 事務所・路線毎
- 高規格道路
- ランプ道
- 側道

3-3. 工事の分類

調査職員より提供する工事完成図書などから、舗装に関する各工事を施工区分毎に分類する。

施工区分	内容	詳細
一次改築	初期工事	初期工事の改良でルート変更が現道と著しく異なる改良
二次改築	現道沿いの改良工事	登坂車線、避讓車線など、車線が増える工事
交 安	歩道新設工事	路肩拡幅工事（歩道有）
修 繕	車道及び歩道の修繕（補修）工事	路肩拡幅工事（歩道無）
		歩道拡幅工事
		災害復旧工事

3-4. 沿道区分

登録するデータは、下記の沿道区分毎に分類する。

- 市街地
- 郊外地

3-5. 図面様式（紙出力様式）

3-5-1. 標準様式

下図を標準とする。

・舗装施工区分台帳図

舗装施工区分台帳図		1 1	管理区分	〇〇開発建設部 〇〇道路事務所	国道名	国道 〇 号 〇-〇〇
平面図	縮尺 縦 1:750 横 1:15000					
一次改築						
二次改築						
交・安						
修 繕						
定規区分						

・舗装定規図

舗装定規図		1 1	管理区分	〇〇開発建設部 〇〇道路事務所	国道名	国道 〇 号 〇-〇〇
0010 KP= XXX, XXX ~ KP= XXX, XXX ※単位はm ※歩道部()書きは、有効幅員 ※単位はm						

3-5-2. 図面の大きさ

図面の大きさは、A列サイズとし、A3を標準とする。
紙出力様式（PDF データ）は、A4 を標準とする。

3-5-3. 図面の余白

下図を標準とする。

		420					
		21					
		舗装施工区分台帳図		1 1	管理区分 〇〇開発建設部 〇〇道路事務所	国道名	国道 〇 号 〇 - 〇〇
平面図 縮尺 縦 1:750 横 1:15000							
一次改築							
二次改築							
交・安							
修 繕							
定規区分							

※. 寸法単位は mm

3-5-4. 表題欄

・記載事項

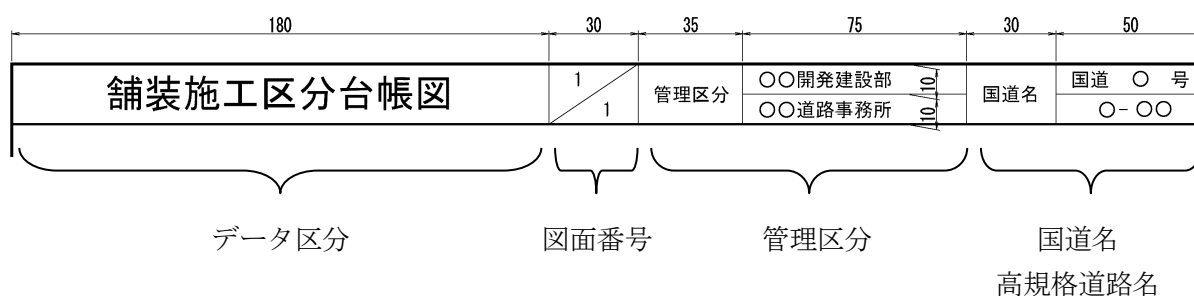
- データ区分
- 図面番号
- 管理区分（建設部名、事務所名）*1
- 国道名（事務所記号 — 国道名）*1
- 高規格道路名（バイパス名など）*2

*1. 「8. 地整・事務所・出張所コード一覧表」参照

*2. 「9. データ分類一覧表」参照

・表題の様式は、下記を標準とする。

※. 寸法単位は mm



3-5-5 尺度（縮尺）

データ区分	作成形式（CAD データ）	印刷形式（PDF データ）
舗装施工区分台帳図	縦 1:500, 横 1:10,000	縦 1:750, 横 1:15,000
舗装定規図	1:100	1:150

※. 変更が必要な場合は印刷時の変更尺度（縮尺）を記載する。

3-6. ファイル名

ファイル名は、下記に示す（主項目＋整理番号 1）命名規則により取り決めることとする。

・主項目

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)
1	8	1	2	1	4	2
0	0	0	5	1	1	1

・命名規則（主項目）

No.	項目名	説明
(1)	データ区分 C	“1”（舗装施工区分台帳図） or “2”（舗装定規図）
(2)	地整 C	“81”【固定】
(3)	事務所 C	「8. 地整・事務所・出張所コード一覧表」参照
(4)	出張所 C	「8. 地整・事務所・出張所コード一覧表」参照
(5)	路線	“0” を充填した 4 桁（例. 一般国道 5 号：0005）
(6)	現旧区分 C	「7-1-2. コード一覧・現旧区分コード」参照
(7)	道路種別 C	「7-1-2. コード一覧・道路種別コード」参照

・整理番号 1

(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)
0	0	0	0	0	0	0	1

保存形式
. p d f

・命名規則（整理番号 1）

No.	項目名	説明
(8)	整理番号 1	“0”【固定】
(9)		基本“0”，高規格道路などインターチェンジがある場合に使用（上りから 1, 2・・・）
(10)		主項目と図面番号が全て同じ場合に使用（上りから 1, 2・・・）
(11)		
(12)	(図面番号)	舗装施工区分台帳図 …… “0” を充填した 4 桁 (例. 図面番号 1：0001)
(13)		
(14)		舗装定規図 …………… “0” 充填した 3 桁の定規図番号+1 桁の枝番号 (例. 定規図番号 1, 枝番号 1：0011)
(15)		

・上記の条件より作成されるファイル名

1812142000511100000001. pdf

“舗装施工区分台帳図”，“北海道開発局”，“札幌開発建設部”，“札幌道路事務所”，“一般国道 5 号”，“現道”，“一般道”，“整理番号 1”，“. pdf” となる。

3-7. レイヤ名

CAD 製図基準（案）に準拠し、下記を標準とする。

・舗装施工区分台帳図

画 層			種 別	線色	線種	線の太さ	備 考
責任 主体	図面 オブジェクト	作図要素					
M	-TTL		外枠	黄(50)	実線	極太線	輪郭線
		-FRAM	タイトル枠	黄(50)		極太線	
		-LINE	区切り線	白		細線	
		-TXT	文字列	白		細線	
	-BMK		構造物基準線（道路中心線）	黄	一点鎖線	細線	道路中心線
		-TXT	文字列	白	実線	細線	測点文字
	-STR		主構造物外形線	赤	実線	太線	
		-DIM	寸法線、寸法値	白(255)		細線	寸法線(255), 寸法値(白)
		-TXT	文字列	白		細線	
		-HTXT	旗上げ	白(255)		細線	旗上線(255), 旗上文字(白)
	-DCR	-HCH1	ハッチ部 1（二次改築）	橙(30)	実線	細線	
		-HCH2	ハッチ部 2（交安）	緑(90)	実線	太線	
	-WORK		補助線	緑(86)		細線	

・舗装定規図

画 層			種 別	線色	線種	線の太さ	備 考
責任 主体	図面 オブジェクト	作図要素					
M	-TTL		外枠	黄(50)	実線	極太線	輪郭線
		-FRAM	タイトル枠	黄(50)		極太線	
		-LINE	区切り線	白		細線	
		-TXT	文字列	白		細線	
	-BGD				実線		
		-BRG	柱状図	白		細線	
		-TXT	文字列	白		細線	
		-HTXT	引出し線	白(255)		細線	
	-BMK		構造物基準線（道路中心線）	黄	一点鎖線	細線	道路中心線
		-TXT	文字列	白	実線	細線	測点文字
	-STR		主構造物外形線	赤	実線	太線	
		-DIM	寸法線、寸法値	白(255)		細線	道路幅員等
		-TXT	文字列	白		細線	
	-OTRS		その他	青		細線	
	-WORK		補助線	緑(86)		細線	

3-8. 線種及び線の太さ

3-8-1. 線種の使い分け

線種		外観	主な用法
1	実線		可視部分を示す線、寸法及び寸法補助線、引出線、破断線、輪郭線
2	破線		見えない部分の形を示す線、未施工部分を示す線
3	一点鎖線		道路中心線、基準線

3-8-2. 印刷時の線の太さ

図面	細線	太線	極太線
舗装施工区分台帳図・舗装定規図	0.13	0.25	0.50

3-9. フォント及び文字サイズ

3-9-1. フォント

フォントは、MSゴシックを標準とする。

3-9-2. 文字サイズ

使用可能な文字サイズは、2.5, 3.5, 5, 10 mm とする。

4. データ作成の留意事項

- 初期データは、マイラーよりラスタ・ベクタ変換したものであるため、CAD 製図基準（案）及び道路設計要領等に準拠し、調査職員より提供される標準様式で作成する。
- 初期データに表記してある路面柵、側溝、路床排水などの形状線は基本的に不要とする。但し、連続性があるもの（トンネルなどに設置している円型側溝など）は表記する。
- 交差点（道路、鉄道）、右左折付加車線、車道摺付、ランプ出入口摺付、バス停車帯は、作成上無視し、一般部が延長したものとして作成する。
- 車道一般部における薄層舗装（1 層）のオーバーレイは作成不要とする。但し、車道部拡幅に伴うオーバーレイ、特殊舗装（排水性舗装、凍結抑制舗装など）は 1 層でも対象とする。
- 橋梁部における薄層舗装は、基本的に対象とする。（切削オーバーレイが一般的）
- 切削オーバーレイ及び打換は作成対象とする。
- 橋梁、トンネル、覆道などの構造物は、工事完成図書の一般図を基に作図する。（ラスタ・ベクタ変換で作図しない）
- 文字（カタカナ含む）は全角、数字・アルファベット・記号（括弧など）は半角とし、特殊文字（Ⅰ、Ⅱ、①、②・・・など）は使用しないで、一般の文字（1, 2・・・）に置き換えて記入する。

【基本編】

5. 舗装施工区分台帳図データの作成

5-1. 作成内容

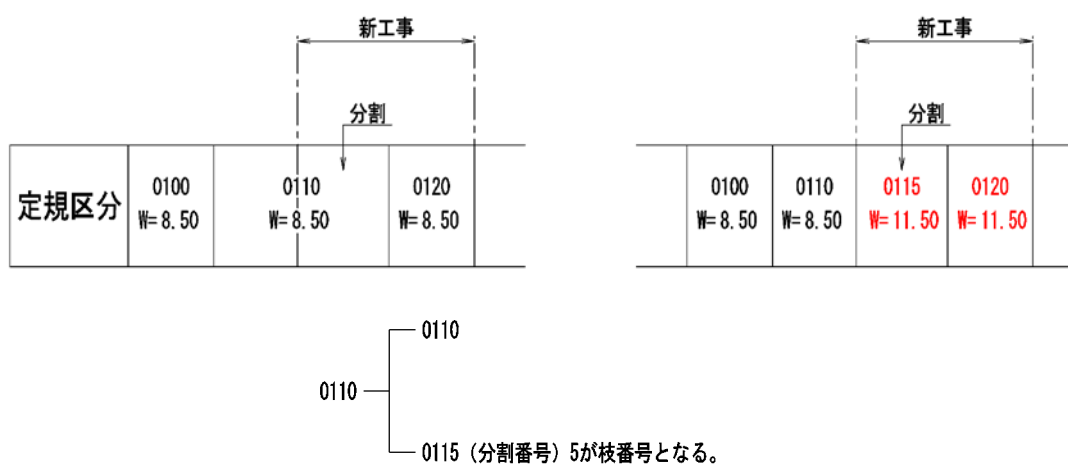
- ・舗装施工区分台帳図は、下記を基本に作成する。

項 目	細 目
平面図	3km/枚毎に作成する。
	起点 KP は、原則としてキロメートルラウンドとする。
	車道幅員寸法は、上下線を加えた寸法とする。
	橋梁、トンネル、覆道は、構造物名を記載する。
	平面図上段に一次改築・二次改築・構造物（橋梁、トンネル、覆道）・幅員の変化点、下段に交安・修繕の KP を旗上げする。
	市区町村境界及び破鎖がある場合、名称、KP などを記載する。
施工区分	一次改築、二次改築、交安、修繕に分類し、図面番号（建設部舗装台帳の図面番号）、施工年度、施工幅員を記載する。
定規区分	定規図番号、総幅員を記載する。

5-2. 留意事項

- 平面図の作成・KP の旗上げは、相対座標で作成する。
- 新規改築工事で同じ条件（交通量、幅員構成など）が 1km 以上続く場合は、将来の修繕工事などにより、枝番が追加されることを考慮し、1km 程度で区分することとする。
- 橋梁（本線）と橋側歩道橋の延長が違う場合、橋梁で区分し橋側歩道橋では区分しない。但し、平面図の橋側歩道橋は、正しい延長で作図する。（KP の旗上げはしない。）
- 完成 4 車線、暫定 2 車線で供用されている場合、完成センターで作図する。
- 工事が複数年にわたり施工されている場合、施工年度は最終年度を記載する。
- 車道拡幅、歩道設置など、両側施工されている場合、施工幅員の右端に(L/R)と記載する。
- 新工事の区分点と既区分点との差が 50m 程度であれば、区分点を調整する。
- 新工事の起終点で既ブロックが分割された場合、枝番（分割番号）で処理する。*1

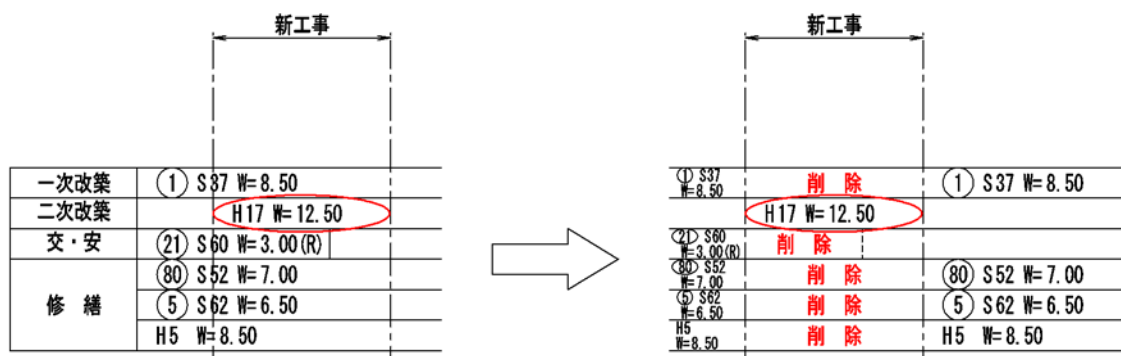
*1. 定規区分の分割例



※ 上記作成例は、交安工事の幅員・舗装構成変更による。

- 二次改築、ルート変更などで、従来の形状が全て無くなった場合、この区間の二次改築年度以前の施工区分（一次改築・交安・修繕）は全て削除する。*2

*2. 施工区分の削除例



※ 上記の作成例は、H17 年の二次改築による。

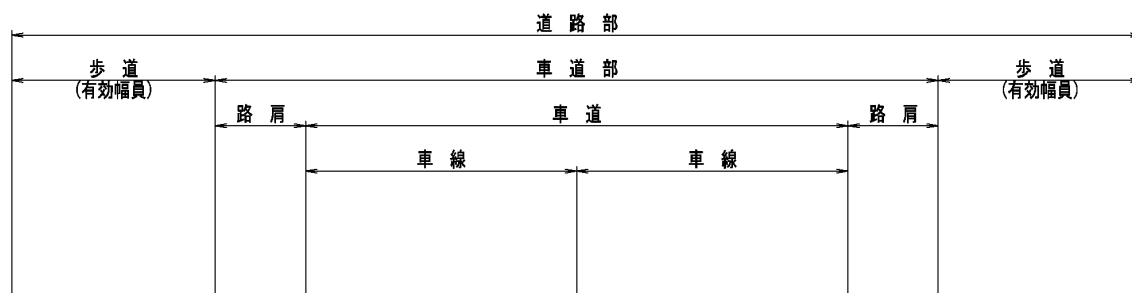
6. 舗装定規図データの作成

6-1. 作成内容

- ・舗装定規図は、下記の内容を基本に作成する。

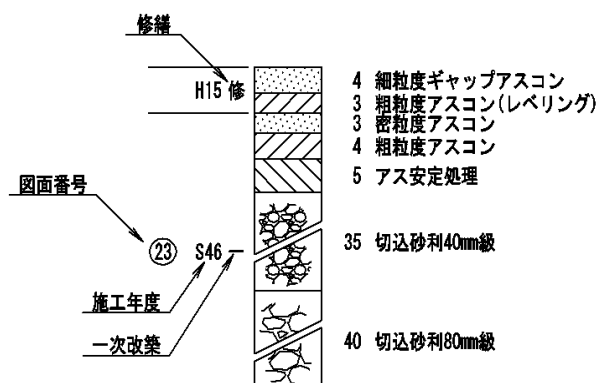
項 目	細 目
定規図	舗装施工区分台帳図で区分されている起終点の KP を記載する。
	橋梁、トンネル、覆道は、構造物名を記載する。
	寸法は車線、車道、路肩、車道部、歩道、道路部に分類する。*1
	歩道部の幅員に有効幅員を記載する。
	補修の場合に、柱状図に記載した内容は定規図にも反映し、補修箇所が分かるようにする。

*1. 寸法線の構成例



項 目	細 目
柱状図	車線、路肩、歩道の舗装構成を作成する。
	図面番号（建設部舗装台帳の図面番号）
	施工年度
	施工区分（一次改築：一，二次改築：二，交安：交，修繕：修）
	舗装厚、舗装種別を記載する。*2

*2. 柱状図の構成例

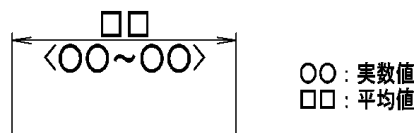


6-2. 留意事項

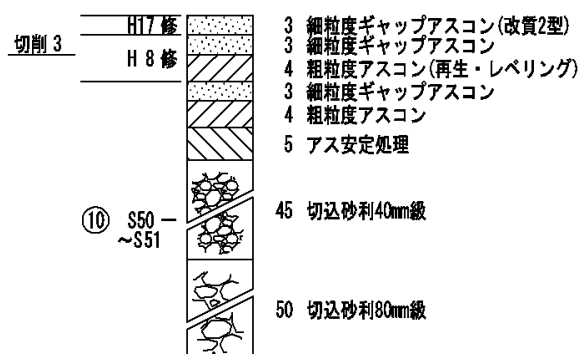
6-2-1. 一般部(共通)

- 交差点改良、登坂車線、避讓車線は、二次改築として作成する。
- 植樹帯(樹)が施工区間には無いが交差点間の延長線上にある場合、破線で作図する。
- 上記の場合の有効幅員は、植樹帯(樹)を控除した数値で記載する。
- 車道幅員が二等分される車線幅員の旗上げは、省略する。
- 幅員が変化する場合の旗上げは、下図を参照とする。*1
- 完成4車線、暫定2車線で供用されている場合、暫定センター・完成センターを記載する。
- 舗装区分点及び舗装区分点間に破鎖がある場合、破鎖のKP、Brchを記載する。
- 切削、打換、Sfrc(サーフェスリサイクリング)は、柱状図の左端に記載する。*2
- (改質2型)、(ゴム入)、(すべり止)、(レベリング)、(ロードヒーティング)などは、舗装種別の右端に記載する。*2
- 舗装種別に再生材を使用した場合は、(再生)と右端に記載する。*2
- 切削、レベリング層は、小数点以下を四捨五入し、cm単位で記載する。*2
- 工事が複数年にわたり施工されている場合、施工年度は下図を参照とする。*2
- 工事完成平面図などで、車道・路肩幅員などが不確実なものは、道路現況図を参照とする。
- 工事は完成していないが、舗装厚、舗装種別が分かっている場合、データを作成する。但し、未施工部は破線表記とする。*3

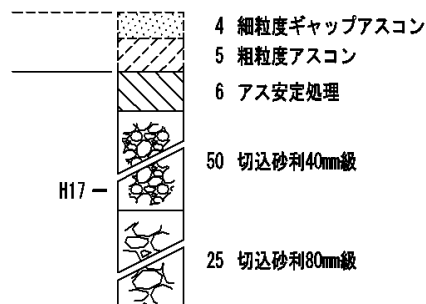
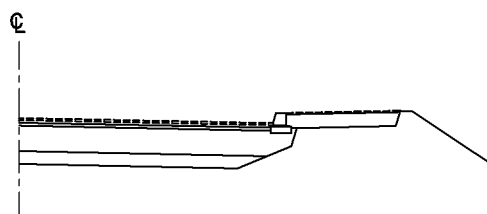
*1. 寸法線[作成例]



*2. 柱状図[作成例]

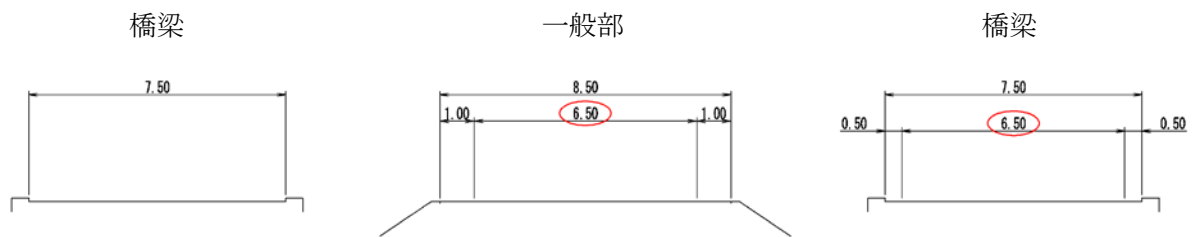


*3 未施工部[作成例]



6-2-2. 橋梁部

- 橋梁の総幅員は分かっているが、車道及び路肩の幅員が不明な場合、前後の一般部の車道幅員に合わせて路肩の幅員で調整する。



- 床版だけとせず、主桁も作図する。
- 橋梁の歩道添架及び歩道が分離している場合、下図<>内寸法は幅員に含まない。



7. システム登録用データの作成

7-1. タイトルデータの作成

タイトルデータとは、舗装施工区分台帳図・舗装定規図データ（PDF データ）を舗装台帳閲覧システムに登録する際、データ 1 枚毎に必要な文字数値データである。

7-1-1. 構成項目

No.	項目名	桁数		説明
		全体	小数	
1	処理区分	1		“S”（新規追加）or “C”（修正）or “D”（削除）
2	地整 C	2		“81”【固定】
3	事務所 C	2		「8. 地整・事務所・出張所コード一覧表」参照
4	出張所 C	2		「8. 地整・事務所・出張所コード一覧表」参照
5	路線	4		“0” を充填した 4 桁
6	現旧区分 C	1		「7-1-2. コード一覧・現旧区分コード」参照
7	整理番号 1	8		「3-6. ファイル名」参照
8	整理番号 2	4		“0000”【固定】
9	整理番号 3	4		“0000”【固定】
10	図面番号	4		「3-6. ファイル名」参照
11	地整	22		“北海道開発局”【固定】
12	事務所	22		「8. 地整・事務所・出張所コード一覧表」参照
13	出張所	22		「8. 地整・事務所・出張所コード一覧表」参照
14	補助番号	2		“*”【固定】
15	現旧区分	4		「7-1-2. コード一覧・現旧区分コード」参照
16	百米標自	5	1	
17	距離自	4		
18	百米標至	5	1	
19	距離至	4		
20	道路種別 C	2		「7-1-2. コード一覧・道路種別コード」参照
21	道路種別	10		「7-1-2. コード一覧・道路種別コード」参照
22	データ区分 C	3		「7-1-2. コード一覧・データ区分コード」参照
23	データ区分	20		「7-1-2. コード一覧・データ区分コード」参照
24	図面名称	20		データ区分と同一
25	図面サイズ	2		“A3”【固定】
26	沿道区分 C	1		「7-1-2. コード一覧・沿道区分コード」参照
27	沿道区分	6		「7-1-2. コード一覧・沿道区分コード」参照
28	修正日付	6		図面を修正した日付 {yyyy/mm/dd}
29	ファイル名	22		「3-6. ファイル名」参照
30	備考	100		高規格道路名、ランプ名、破鎖など記入

※. 処理区分：修正が無い場合は、何も記入しない。

7-1-2. コード一覧

タイトルデータ等作成時に必要なコードは、下記のとおり。

・現旧区分コード

現旧区分 C	現旧区分
1	現道
2	旧道
3	新道

・道路種別コード

道路種別 C	道路種別
11	一般道
12	高規格道路
13	ランプ道
14	側道
99	その他

・データ区分コード

データ区分 C	データ区分
1	舗装施工区分台帳図
2	舗装定規図

・沿道区分コード

沿道区分 C	沿道区分
1	市街地
2	郊外地

タイトルデータ作成例

沿道区分	地盤区分	事業所	出場所	路線	現旧区分	登録番号	登録番号	登録番号	図面番号	地盤	事業所	出場所	補助	現旧区分	百米標	距離	百米標	名称	図面	沿道区分	沿道区分	修正日付	ファイル名	備考
01	21	42	0005	1	00000001	0000	0000	0001	北海道開発局	札幌開発建設部	札幌道路事務所	札幌道路事務所	札幌道路事務所	現道	263.1	0	266.0	施工区分台帳図	A3	1	市街地	2006/08/06	1812142000511100000001.pdf	
01	21	42	0005	1	00000002	0000	0000	0002	北海道開発局	札幌開発建設部	札幌道路事務所	札幌道路事務所	札幌道路事務所	現道	266.0	0	269.0	施工区分台帳図	A3	1	市街地	2006/08/06	1812142000511100000002.pdf	
01	21	42	0005	1	00000003	0000	0000	0003	北海道開発局	札幌開発建設部	札幌道路事務所	札幌道路事務所	札幌道路事務所	現道	269.0	0	272.0	施工区分台帳図	A3	1	市街地	2006/08/06	1812142000511100000003.pdf	
01	21	42	0005	1	00000004	0000	0000	0004	北海道開発局	札幌開発建設部	札幌道路事務所	札幌道路事務所	札幌道路事務所	現道	272.0	0	275.0	舗装施工区分台帳図	A3	1	市街地	2006/10/01	1812142000511100000004.pdf	
01	21	42	0005	1	00000005	0000	0000	0005	北海道開発局	札幌開発建設部	札幌道路事務所	札幌道路事務所	札幌道路事務所	現道	275.0	0	279.0	舗装施工区分台帳図	A3	1	市街地	2006/10/01	1812142000511100000005.pdf	
01	21	42	0005	1	00000006	0000	0000	0006	北海道開発局	札幌開発建設部	札幌道路事務所	札幌道路事務所	札幌道路事務所	現道	278.0	0	281.0	舗装施工区分台帳図	A3	1	市街地	2006/11/11	1812142000511100000006.pdf	
01	21	42	0005	1	00000007	0000	0000	0007	北海道開発局	札幌開発建設部	札幌道路事務所	札幌道路事務所	札幌道路事務所	現道	281.0	0	284.0	舗装施工区分台帳図	A3	1	市街地	2006/11/11	1812142000511100000007.pdf	

7-2-1. PDF データの作成

- なお、作成した CAD データも、上記同様の格納分類に従い取りまとめることとする。

7-2-2. 提出調書の作成

- ## 舗装台帳閲覧システム登録用データの作成 総括表

[illegible]

下図に三十三様子を挿入した。

[illegible]

※タイトル、テーマを未記入、必要内容を追加する。

【参考資料】

8. 地整・事務所・出張所コード一覧表

地整		事務所		出張所		
コード	名称	コード	名称	コード	名称	記号
81	北海道開発局	21	札幌開発建設部	42	札幌道路事務所	S
				43	岩見沢道路事務所	I
				44	千歳道路事務所	C
				45	滝川道路事務所	T
				46	深川道路事務所	F
		23	函館開発建設部	42	函館道路事務所	H
				44	八雲道路事務所	Y
				46	江差道路事務所	E
		24	小樽開発建設部	42	小樽道路事務所	O
				44	倶知安開発事務所	K
				45	岩内道路事務所	I
		25	旭川開発建設部	42	旭川道路事務所	A
				44	士別道路事務所	S
				45	富良野道路事務所	F
		26	室蘭開発建設部	42	苫小牧道路事務所	T
				43	室蘭道路事務所	M
				48	有珠道路事務所	A
				49	日高道路事務所	H
				50	浦河道路事務所	U
		27	釧路開発建設部	42	釧路道路事務所	K
				43	根室道路事務所	N
				44	弟子屈道路事務所	T
				45	中標津道路事務所	S
		28	帯広開発建設部	42	帯広道路事務所	O
				44	広尾道路事務所	H
				46	足寄道路事務所	A
		29	網走開発建設部	42	北見道路事務所	K
				43	網走道路事務所	A
				45	遠軽開発事務所	E
				46	興部道路事務所	O
		30	留萌開発建設部	31	留萌開発事務所	R
				42	羽幌道路事務所	H
		31	稚内開発建設部	31	稚内道路事務所	W
				42	浜頓別道路事務所	H

9. データ分類一覧表

事務所名	出張所名	路線名	分類名
札幌開発建設部	札幌道路事務所	0005 号	
		0012 号	
		0036 号	
		0230 号	
		0231 号	本線
		0231 号	側道
		0274 号	
		0275 号	
		0337 号	
		0337 号	道央圏連絡道路
		0453 号	
	岩見沢道路事務所	0012 号	
		0234 号	
		0274 号	
		0337 号	
		0337 号	道央圏連絡道路（本線）
			道央圏連絡道路（ランプ道）
	千歳道路事務所	0452 号	
		0036 号	本線
		0036 号	副道
		0274 号	
		0276 号	
		0337 号	
		0337 号	道央圏連絡道路（本線）
			道央圏連絡道路（ランプ道）
	滝川道路事務所	0453 号	
		0012 号	
		0012 号	滝川バイパス
		0038 号	
		0231 号	
		0275 号	
		0451 号	
		0451 号	滝新バイパス
		0452 号	

事務所名	出張所名	路線名	分類名
札幌開発建設部	深川道路事務所	0012 号	
		0233 号	
		0233 号	深川留萌自動車道（本線）
			深川留萌自動車道（ランプ道）
		0275 号	

事務所名	出張所名	路線名	分類名
函館開発建設部	函館道路事務所	0005 号	
		0005 号	函館新道（本線）
			函館新道（ランプ道）
			函館新道（L 側道）
			函館新道（R 側道）
		0227 号	
		0228 号	
		0228 号	函館江差自動車道（本線）
			函館江差自動車道（ランプ道）
		0278 号	
		0278 号	尾札部バイパス
		0278 号	函館新外環状道路（本線）
			函館新外環状道路（ランプ道）
		0279 号	
	八雲道路事務所	0005 号	
		0037 号	
		0229 号	
		0230 号	
		0277 号	
		0278 号	
	江差道路事務所	0227 号	
		0228 号	
		0229 号	
		0277 号	

事務所名	出張所名	路線名	分類名
小樽開発建設部	小樽道路事務所	0005 号	
		0229 号	
		0337 号	本線
		0337 号	ランプ道
		0393 号	
	倶知安開発事務所	0005 号	
		0230 号	
		0276 号	
		0393 号	
	岩内道路事務所	0005 号	
		0229 号	
		0276 号	
		0276 号	旧道

事務所名	出張所名	路線名	分類名
旭川開発建設部	岩内道路事務所	0012 号	
		0012 号	旧道
		0039 号	
		0040 号	
		0237 号	
		0273 号	
		0333 号	
		0450 号	旭川紋別自動車道（本線）
			旭川紋別自動車道（ランプ道）
		0452 号	
	士別道路事務所	0040 号	
		0040 号	名寄バイパス（本線）
			名寄バイパス（ランプ道）
		0239 号	
		0275 号	
	富良野道路事務所	0038 号	
		0038 号	富良野道路（本線）
			富良野道路（ランプ道）
		0237 号	

事務所名	出張所名	路線名	分類名
室蘭開発建設部	苫小牧道路事務所	0036 号	
		0234 号	
		0235 号	
		0235 号	日高自動車道（本線）
			日高自動車道（ランプ道）
		0276 号	
	室蘭道路事務所	0036 号	本線
			ランプ道
		0037 号	
		0037 号	白鳥新道（本線）
	有珠道路事務所		白鳥新道（ランプ道）
		0037 号	
		0230 号	本線
			ランプ道
		0276 号	
		0453 号	
	日高道路事務所	0453 号	旧道
		0237 号	
		0274 号	
	浦河道路事務所	0235 号	
		0236 号	
		0336 号	

事務所名	出張所名	路線名	分類名
釧路開発建設部	釧路道路事務所	0038 号	
		0038 号	新道（本線）
			新道（ランプ道）
			新道（側道）
		0038 号	釧路外環状道路（本線）
			釧路外環状道路（ランプ道）
		0044 号	
		0044 号	釧路外環状道路（本線）
			釧路外環状道路（ランプ道）
		0240 号	
		0272 号	
		0274 号	
		0391 号	
		0392 号	
		3202 号	北海道横断図自動車道（本線）
			北海道横断図自動車道（ランプ道）
			北海道横断図自動車道（雪氷 U ターン路）
	根室道路事務所	0044 号	
		0044 号	根室道路
		0243 号	
		0244 号	
	弟子屈道路事務所	0240 号	
		0241 号	
		0243 号	
		0274 号	
		0391 号	
	中標津道路事務所	0243 号	
		0244 号	
		0272 号	
		0334 号	
		0335 号	

事務所名	出張所名	路線名	分類名
帯広開発建設部	帯広道路事務所	0038 号	
		0236 号	
		0236 号	帯広広尾自動車道（本線）
			帯広広尾自動車道（ランプ道）
			帯広広尾自動車道（側道）
		0241 号	
		0241 号	旧道
		0274 号	
	広尾道路事務所	0236 号	
		0336 号	
		0336 号	浦幌バイパス
	足寄道路事務所	0241 号	
		0242 号	
		0273 号	
		0274 号	

事務所名	出張所名	路線名	分類名
網走開発建設部	北見道路事務所	0039 号	
		0039 号	北見道路（本線）
			北見道路（ランプ道）
		0240 号	
		0242 号	
		0243 号	
		0333 号	
		3201 号	北海道横断自動車道（本線）
			北海道横断自動車道（ランプ道）
	網走道路事務所	0039 号	
		0039 号	美幌バイパス（本線）
			美幌バイパス（ランプ道）
		0238 号	
		0244 号	
		0334 号	
		0391 号	

事務所名	出張所名	路線名	分類名
網走開発建設部	遠軽開発事務所	0238 号	
		0242 号	
		0333 号	
		0450 号	旭川紋別自動車道（本線）
			旭川紋別自動車道（ランプ道）
			旭川紋別自動車道（雪氷 U ターン路）
	興部道路事務所	0238 号	
		0239 号	
		0273 号	

事務所名	出張所名	路線名	分類名
留萌開発建設部	留萌開発事務所	0231 号	
		0231 号	旧道
		0231 号	留萌拡幅
		0232 号	
		0233 号	
		0233 号	深川留萌自動車道（本線）
			深川留萌自動車道（ランプ道）
	羽幌道路事務所	0040 号	
		0040 号	新道
		0232 号	
		0232 号	天塩バイパス
		0239 号	

事務所名	出張所名	路線名	分類名
稚内開発建設部	稚内道路事務所	0040 号	本線
		0040 号	側道（L）
			側道（R）
		0040 号	豊富バイパス（本線）
			豊富バイパス（ランプ道）
		0040 号	幌富バイパス
		0238 号	
	浜頓別道路事務所	0238 号	
		0275 号	

10. 作成例（凡例）

10-1. 舗装施工区分台帳図 凡例

表題		施工区分		定規区分	
S-1234	[S] 出張所記号 [234] 路線名	① H10 W=20.00	① 舗装台帳図面番号 H 10 施工年度 W= 20.00 施工幅員	0010	001 定規図番号（管理事務所変更ごとに001より追番） 0 追加分の付番

※「表題・施工区分・定規区分」は「舗装定規図凡例」と共通とする。

平面図

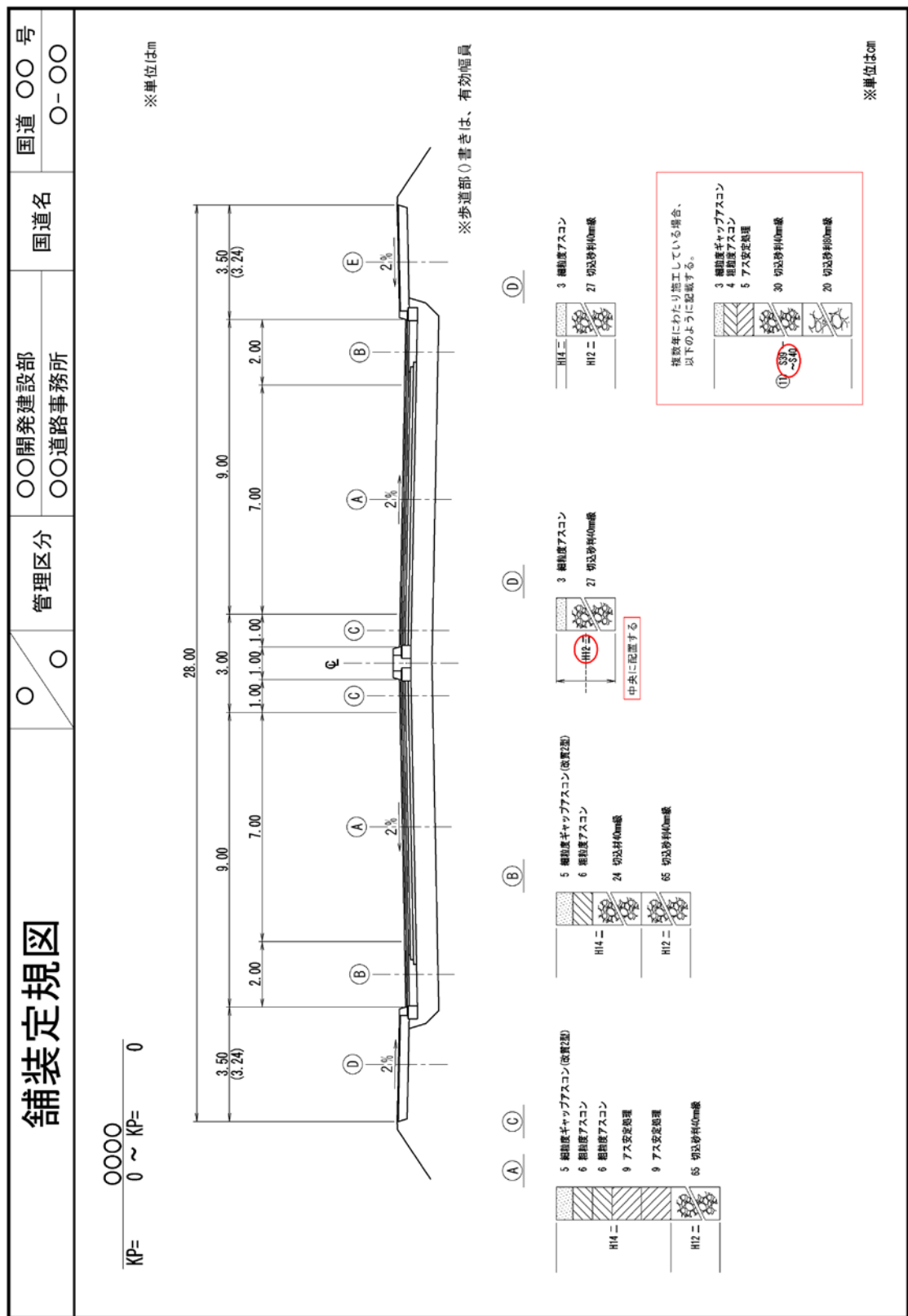
10-2. 舗装定規図 凡例

定規図

柱状図 (ハッチング・マークの詳細)

[illegible]

10-4. 舗装定規図（一般部）



舗装定規図	○	○	管理区分	〇〇開発建設部	国道名	国道 〇〇 号
				〇〇道路事務所		〇-〇〇





10-6. 総括表

舗装台帳閲覧システム登録用データの作成 総括表

(单位:枚数)

国道名	種別	延長 Km	舗装施工区分台帳図作成		舗装施工区分台帳図修正		舗装定規図作成		舗装定規図修正		タイトル データ数	備 考
			市街地	郊外地	市街地	郊外地	市街地	郊外地	市街地	郊外地		
札幌道路事務所 一般国道 5号		19.0										
一般国道 12号		14.1			1		1		7		9	
一般国道 36号		14.1										
一般国道230号		45.2	1		2	1	1	3	5		13	
一般国道231号		51.9										側道含む
一般国道274号		26.1										
一般国道275号		53.6										
一般国道337号		27.5		1		1		2		1	5	
一般国道453号		15.2										
磐見沢道路事務所 一般国道 12号		61.1			1		1		5		7	
一般国道234号		37.3				1		1		2	4	
一般国道274号		33.4										
一般国道337号		8.1										
一般国道337号		2.8				1				1	2	道央圏連絡道路
一般国道452号		54.9										
千歳道路事務所 一般国道 36号		33.2										
一般国道274号		19.0										
一般国道276号		26.6			3	1	1	2	5	2	14	
一般国道337号		38.7										
一般国道337号		3.4										道央圏連絡道路
一般国道453号		36.5										
小計		621.7	1	1	7	5	3	9	17	11	54	

10-7. 變更箇所一覽表

舗装施工区分台帳図・舗装定規図データ 変更箇所一覧表

[illegible]